

平成20年度決算

平成20年度の各会計決算が平成21年9月に開催された中間市議会で認定されました。
みなさんから納めていただいた市民税などの税金や地方交付税などの収入で、「元気な風がふくまちなかま」に向けて事業を実施いたしました。

一般会計決算では、収入総額は169億5,529万円、支出総額は161億1,367万円で差し引き8億4,162万円となり、翌年度への繰越事業費充当財源である1億9,086万円を差し引いた実質収支は、6億5,076万円の黒字となりました。

その他の特別会計を含む全会計の決算は、下表のとおりです。

市民の皆さんの生活に密接に関係している一般会計がどのように使われたか、その決算の概要についてお知らせします。

●各会計別決算状況

会 計 名	歳 入	歳 出
一般会計	169億5,529万円	161億1,367万円
特別会計国民健康保険事業 (単年度決算額) (前年度繰上充用金)	54億7,900万円	62億3,449万円 (54億6,858万円) (7億6,591万円)
住宅新築資金等特別会計 (単年度決算額) (前年度繰上充用金)	597万円	6億2,171万円 (545万円) (6億1,626万円)
地域下水道事業特別会計	9,719万円	9,389万円
公共下水道事業特別会計	20億5,733万円	20億5,345万円
老人保健特別会計	6億1,564万円	6億502万円
公共用地先行取得特別会計	676万円	676万円
介護保険事業特別会計	33億4,181万円	32億6,380万円
保険事業勘定	33億641万円	32億3,009万円
サービス事業勘定	3,540万円	3,371万円
後期高齢者医療特別会計	5億9,307万円	5億8,117万円

※前年度繰上充用金は、前年度の歳入不足額に対して翌年度の歳入を繰上げて充てることです。

●一般会計の状況

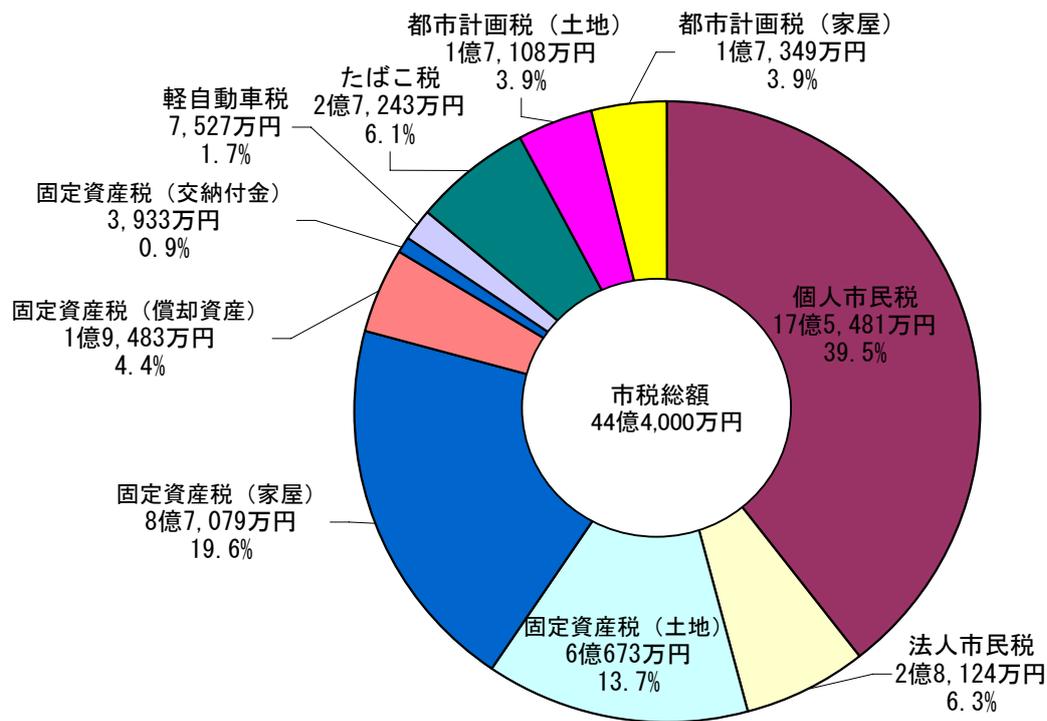
○歳入総額 169億5,529万円

市税	44億4,000万円	自主財源 60億1,334万円 (35.5%)
繰越金	6億9,292万円	
基金の繰入金	1億4,010万円	
諸収入	3億5,869万円	
分担金・負担金	1億6,091万円	
使用料・手数料	1億4,752万円	
財産収入・寄附金	7,320万円	
地方交付税	47億9,273万円	依存財源 109億4,195万円 (64.5%)
国庫支出金	31億5,512万円	
市債	14億7,479万円	
県支出金	8億5,323万円	
地方譲与税	1億5,301万円	
地方消費税交付金など	5億1,307万円	

○歳出総額 161億1,367万円

福祉サービスの提供など	民生費	69億8,300万円
借入金の返済	公債費	22億5,598万円
市役所窓口サービスなど行政の推進	総務費	21億5,060万円
道路や市街地の整備	土木費	14億3,685万円
保健医療やごみ処理など	衛生費	12億5,084万円
教育の充実に	教育費	12億0,662万円
消防防災対策に	消防費	4億5,061万円
市議会運営に	議会費	1億8,768万円
労働対策に	労働費	731万円
商工業振興に	商工費	7,786万円
農業振興に	農林水産業費	1億0,632万円

●市税収入の内訳



●積立金及び地方債現在高 (普通会計)

	平成20年度末現在	住民1人当たり
積立金現在高	30億273万円	約6.5万円
地方債現在高	185億9,621万円	約40万円

【平成21年3月末住民基本台帳人口 46,164人】

●健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴い、平成19年度決算から健全化判断比率、公営企業に係る資金不足比率の公表が義務付けられました。

健全化判断比率はすべてが早期健全化基準未達となり、資金不足比率も資金不足額が生じた公営企業会計はありませんでした。

○健全化判断比率

(単位: %)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
実質赤字額なし (13.50)	連結実質赤字額なし (18.50)	14.3 (25.0)	135.7 (350.0)

() 内は、早期健全化基準

○資金不足比率

(単位: %)

公営企業会計の名称	水道事業会計	病院事業会計	公共下水道事業特別会計
資金不足比率	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし

●平成20年度決算に係る主な事業紹介

○二タ股・東中牟田線道路改良事業 決算額・・・8,618万円

遠賀町、鞍手町及び北九州市とを結ぶ広域交通ネットワークの形成と共に工業団地周辺の開発の促進を図りました。

○塘ノ内砂山線外2路線街路事業 決算額・・・3億3,187万円

北九州都市圏への幹線道路である塘ノ内砂山線・岩瀬1号線・行幸尾塘ノ内線の整備を行い、交通の円滑化を図りました。

○体育文化センター整備事業 決算額・・・3,431万円

老朽化の進んでいる体育文化センターの床面、照明器具の大規模な改修工事を行い利用者がより安全で快適に利用できる施設に改善しました。

○なかまハーモニーホール整備事業 決算額・・・5,385万円

なかまハーモニーホールの安全性及び快適性を確保し、より質の高い文化振興を図ることを目的に、老朽化した大・小ホールにおける舞台機構及び音響設備等の大規模な改修工事を行いました。

○乳幼児医療の充実 決算額・・・8,565万円

平成20年4月から外来診療分の公費負担対象ををこれまでの5歳未満から就学前までに拡充し、乳幼児の医療費の不安を解消し、福祉の向上を図りました。

○防火水槽設置事業 決算額・・・659万円

迅速な消火活動及び消防水利確保のため弥生地区に防火水槽を新たに設置しました。

○学校教育施設整備事業 決算額・・・8,830万円

老朽化の進んだ中間北小学校及び中間東中学校のトイレの改善、中間小学校体育館の改修を行いました。また、小・中学校の耐震化に向けて、翌年度に工事を実施するための耐震工事実施設計や耐震工事が必要かを判断する耐震診断を行い、診断結果を受け、翌年度以降に耐震化工事の計画を進める等、児童・生徒の安全安心の確保、教育環境の整備を図りました。

○市制施行50周年記念事業 決算額・・・1,360万円

中間市制が施行されて50周年となることを記念し、「ストリートパフォーマンス」や「名産品コンテスト」等様々なイベントを催しました。「映像で振り返るふるさと中間」では、市制施行当時の貴重なフィルムを編集したDVDを上映・販売し、多くの方に中間市の歴史を知ってもらえるよう努めました。

○犬王古月線・仮屋大膳橋線街路事業にかかる負担金 決算額・・・4,375万円

福岡県が施工する筑豊本線の垣生駅アンダー立体交差点工事（犬王古月線）、渋滞緩和のための拡幅工事（仮屋大膳橋線）に対して地元負担金を支払いました。